

重度障害者の「18歳の壁」



吉田議員の質問動画

「夕方の居場所」確保を

6月定例会の一般質問で吉田市議は、重い障害の子を持つ母親から相談を受けたと切り出し、障害者の「夕方の居場所」の確保について取り上げました。

母親の子どもは、重度の障害者で特別支援学校の中学部3年生。支援学校を下校した後は、放課後デイサービスを利用し、自宅に帰るのは夕方5時半頃。母親は「支援学校の高等部を卒業する18歳までは正規職員で働けるが、卒業したら生活介護事業所（デイサービス）への通所になる。その多くが9時〜15時

生活介護が9時間延長など拡充された

頃まで。17時半や18時まで預かってくれるところは多くない。パートになるか、仕事を辞めるしかないか、と悩んでいると言います。

富山市内の事業所は「がんばりっこ」が2箇所あり、課後デイサービス・生活介護事業所、富山型デイサービス事業所を訪ねて、「富山市の事業者はがんばっている」と感じたと述べました。問題は人材確保が深刻で、ある事業所では「延長して預かってあげたいけど、体制的に無理」と言います。また、親が、求めている

富山市内の事業所は「がんばりっこ」

吉田市議は、支援学校、放課後デイサービス・生活介護事業所、富山型デイサービス事業所を訪ねて、「富山市の事業者はがんばっている」と感じたと述べました。問題は人材確保が深刻で、ある事業所では「延長して預かってあげたいけど、体制的に無理」と言います。また、親が、求めている

サービスになかなか「たどり着けない」という声が上がっています。施設・事業所

等の情報提供の充実や工夫が必要と提起しました。

学童保育のさらなる充実を

赤星議員一般質問

「こども会」も学童保育の基準満たすよう市の責任で

富山市が地域の運営協議会に委託して行われている学童保育の「こども会」（地域児童健全育成事業）では、児童数が多いため2年生までしか受け入れられなかったり（法令では6年生まで）、夕方5時に閉所や、夏休みも午後だけなど1日開設できないところもあり、子どもが民間の学童保育所と「はしご」せざるを得なかったりと、働

く保護者も心配しています。赤星市議は、すべての「こども会」についても学童保育の条例基準を満たすよう、市が責任持つて取り組むべきと求めました。

古川こども家庭部長は「各運営協議会や指導員に対して開設時間の延長や開設日数の拡大について、働きかけを地道に続けて行くこととしており、引き続き地域の実情を踏まえ、地域の皆様のお力をお借りしながら地域児

童健全育成事業を実施してまいりたい」と答弁しました。常勤の指導員2人以上配置で国の補助加算から、放課後児童クラブの常勤の支援員を2名以上配置した場合の加算（年間160万円）を創設し、県も富山市の分約1500万円を含めて計上しましたが、市は予算計上もしていません。赤星市議は活用するよう求めました。

↑市内のある校区の「こども会」の様子 6/14

「こども会」も学童保育の基準満たすよう市の責任で

赤星市議は、すべての「こども会」についても学童保育の条例基準を満たすよう、市が責任持つて取り組むべきと求めました。

古川こども家庭部長は、「今後、調査研究してまいりたい」と答弁しました。

赤星市議は昨年取り上げた昼食の提供について、小学校の給食調理室や給食センターを活用して手作りの温かくておいしい

みなさんの声を届けて取り組んできました！

日本共産党は、市民のみなさんからの切実な要望実現にねばりよく取り組んできました。また、税金の使い方がおかしい！と、きびしいチェックも。この間のおもな取り組みを紹介します。

● 小・中学校 **特別教室** (626教室が未設置) **今年から設置方法検討へ**
体育館にエアコン設置を

日本共産党は、他党派に先がけて平成26年頃から普通教室のエアコン設置を主張。令和2年5月までに完了しました。特別教室は昨年9月時点で47.1%が未設置。昨年12月定例会で市民の陳情が採択され、あわせて避難所にもなる体育館へのエアコン設置も市は検討することに。

● 能登半島地震 **液状化被害復旧「一部損壊」住宅も対象に**
被災住宅への支援強化

液状化による住宅被害に対して支援の拡充を求めています。また、ブロック塀の撤去などの支援に取り組みました。

● 小・中学校 **27校を再編対象**
機械的な統廃合計画

1学年1学級のすべての学校を再編対象にする市教委の乱暴な計画。日本共産党は2022年2月にシンポジウムを開催。住民への説明、合意を重視した対応を求めています。

● 小・中学校 **全国547自治体を実施**
学校給食費の無償化を

全国547自治体に無償化が広がっています。日本共産党は2023年には富山市で署名活動を実施。藤井市政は、市単独で実施する意向を示していません。

● **新型コロナ対策** **PCR検査を求める**

感染が広がった約4年間。日本共産党は、PCR検査の徹底、医療機関・介護施設や事業者への支援を求めてきました。



官製談合が発覚

● 呉羽山の「吊り橋」に25億円

日本共産党は不透明なプロセスに対し「必要な橋なのか」と提起。官製談合の全容解明、安全性の確保などを求めてきました。

● 旧統一協会との関係断絶を **市議会も断絶決議**

旧統一協会との癒着が問題になった2022年9月議会で市長に断絶を求め、市長は「断絶する」と明言。市は関係団体の行事への後援を過去にさかのぼって取り消しへ。市議会も断絶すると決議しました。

赤星市議と吉田市議は、21年6月以降の定例会（13回）で毎回一般質問に立ち、請願・陳情の賛成討論や予算・決算の反対討論、委員会でも積極的に発言してきました。

あなたの声と要望をお寄せください！

